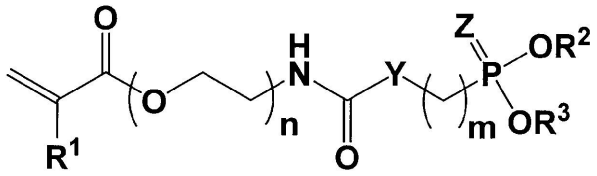
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和7年6月19日(2025.6.19)

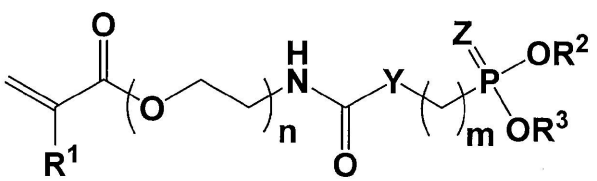
【公開番号】特開2024-86041(P2024-86041A)
【公開日】令和6年6月27日(2024.6.27)
【年通号数】公開公報(特許)2024-119
【出願番号】特願2022-200904(P2022-200904)
【国際特許分類】
*Ｃ０７Ｆ　9/38(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　6/30(2020.01)*
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｆ　9/38　　ＢＣＳＰ
Ａ６１Ｋ　6/30

【手続補正書】
【提出日】令和7年6月11日(2025.6.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記一般式（１）で表されるホスホン酸化合物（Ａ）。
【化１】



(1)

（式中、$R^1$は水素原子又はメチル基を表し、$R^2$及び$R^3$は、それぞれ独立して水素原子、炭素数１～６の炭化水素基、又は金属原子を表し、Ｚは酸素原子又は硫黄原子を表し、Ｙは、－Ｏ－、－Ｓ－及び－ＮＨ－からなる群から選択される１種を表し、ｎは２～４の整数を表し、ｍは３～１８の整数を表す。）
【請求項２】
ｍが５～１６の整数である、請求項１に記載のホスホン酸化合物（Ａ）。
【請求項３】
$R^1$がメチル基である、請求項１又は２に記載のホスホン酸化合物（Ａ）。
【請求項４】
$R^2$及び$R^3$が、水素原子である、請求項１又は２に記載のホスホン酸化合物（Ａ）。
【請求項５】
下記一般式（１）で表されるホスホン酸化合物（Ａ）を含有する歯科用接着性組成物。
【化２】



(1)

（式中、$R^1$は水素原子又はメチル基を表し、$R^2$及び$R^3$は、それぞれ独立して水素原子、炭素数１～６の炭化水素基、又は金属原子を表し、Ｚは酸素原子又は硫黄原子を表し、Ｙは、－Ｏ－、－Ｓ－及び－ＮＨ－からなる群から選択される１種を表し、ｎは２～４の整数を表し、ｍは３～１８の整数を表す。）

【請求項６】

前記ホスホン酸化合物（Ａ）のｍが５～１６の整数である、請求項５に記載の歯科用接着性組成物。

【請求項７】

前記ホスホン酸化合物（Ａ）の$R^1$がメチル基である、請求項５又は６に記載の歯科用接着性組成物。

【請求項８】

$R^2$及び$R^3$が、水素原子である、請求項５又は６に記載の歯科用接着性組成物。

【請求項９】

前記ホスホン酸化合物（Ａ）と共重合可能な重合性単量体（Ｂ）をさらに含有する、請求項５又は６に記載の歯科用接着性組成物。

【請求項１０】

前記重合性単量体（Ｂ）が親水性重合性単量体（Ｂ－１）を含有する、請求項９に記載の歯科用接着性組成物。

【請求項１１】

重合開始剤（Ｃ）をさらに含有する、請求項５又は６に記載の歯科用接着性組成物。

【請求項１２】

フィラー（Ｅ）をさらに含有する、請求項５又は６に記載の歯科用接着性組成物。

【請求項１３】

溶媒（Ｆ）をさらに含有する、請求項５又は６に記載の歯科用接着性組成物。

【請求項１４】

請求項５又は６に記載の歯科用接着性組成物からなる歯科用ボンディング材。